

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		ご利用者の方が、安心して落ち着いて過ごして頂ける環境・空間作り。	整理・整頓・清掃の維持により、気持ちの良い居場所を提供する。	季節感を感じられる環境の整備と、ご利用者間の関係を考慮したレイアウトを含む、居場所としての環境改善。	1年
2		夜間帯における避難誘導について。	夜間想定した避難マニュアルの作成する。	夜間帯における少人数職員での、避難方法についてのマニュアル作成。	1年
3		夜間の睡眠障害の方への対応について。	安眠していただける状況を作り出すこと。	安眠に対する職員間の共通認識を図ると共に、夕食後をより快適に過ごしていただけるように検討を図る。	1年
4		職員の介護技術、及び知識についてのレベルアップ。	職員毎に偏りのない、安定したケアの提供すること。	個々のレベルに合わせた情報伝達の工夫。	1年
5		1週間における入浴回数の増加。	ご希望に応じてご入浴いただける回数を、現状より増やす改善を行うこと。	入浴時間の確保と、誘導方法についての共通認識に加え、ご利用者の変化に対応できる情報伝達の効率化を図る。	1年

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。